



2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年2月12日

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 4393 URL <http://www.boi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4400-1817
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の業績 (2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	1,174	—	191	—	189	—	129	—
2018年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	33.16	32.86
2018年9月期第1四半期	—	—

(注) 当社は第1四半期の業績開示を2019年9月期より行っているため、2018年9月期第1四半期の数値及び2019年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	2,574	1,255	48.8
2018年9月期	2,811	1,112	39.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 1,255百万円 2018年9月期 1,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

2019年9月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1.(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年9月期1Q	3,909,000株	2018年9月期	3,896,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2019年9月期1Q	35株	2018年9月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年9月期1Q	3,904,585株	2018年9月期1Q	—株
------------	------------	------------	----

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、2018年9月期第1四半期の期中平均株式数 (四半期累計) を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年9月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 3「1. (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、海外における通商問題の動向や経済の先行きなどについて懸念点が残されているものの、雇用・所得環境の改善をはじめ、緩やかな回復基調が続くことが期待されました。

当社の事業領域である日本国内のスマートフォンゲーム業界を取り巻く環境におきましては、前年同期比で減益もしくは赤字となる企業はありつつも、年間を通してランキング上位の顔ぶれには大きい変化は見られず、ヒットタイトルを中心に安定して推移したものと見受けられます。

このような事業環境のもと、当社の主力タイトルである「ミトラスフィア」及び「幻獣契約クリプトラクト」を中心に、クリスマスや年末年始等に合わせたイベントやキャンペーン施策を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,174,060千円、営業利益は191,916千円、経常利益は189,567千円、四半期純利益は129,482千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は2,574,479千円となり、前事業年度末に比べ236,936千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が169,309千円減少、売掛金が81,231千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,318,644千円となり、前事業年度末に比べ379,848千円減少いたしました。これは主に、短期借入金が150,000千円減少、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が155,509千円減少、未払金が51,893千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,255,834千円となり、前事業年度末に比べ142,911千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使による新株発行を行ったことにより資本金及び資本準備金がそれぞれ6,747千円ずつ増加したことと、四半期純利益129,482千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、既存タイトルの長期運営並びに自社IPとしての育成を行いつつ、高品質の新作タイトルを開発・リリースすることが、当社にとっての最重要課題であると認識しております。

当社は、2015年「幻獣契約クリプトラクト」リリース、2016年リリースなし、2017年「ミトラスフィア」リリース、2018年リリースなし、というように、2015年以降において2年に1本のペースで、主力ゲームタイトルをリリースしてまいりました。2019年以降は、主力ゲームタイトルについて年平均1本程度のリリース、主力ゲームタイトル以外も含めて、年平均1本～2本程度のゲーム及びサービスをリリースしたいと考えております。

2019年9月期第2四半期以降は以下の取り組みを行うことを予定しております。

① 新作タイトルの開発

本書提出日現在、RPGの新作2タイトルの開発を引き続き進めております。

いずれも当社にとって新たな主力タイトルとなるよう、当社の品質基準に妥協することなく、より高い品質を目指してまいります。競争優位性を高めるという観点から、リリースの目途が立つまで（β版が完成するまで）は新作の情報開示は控えるとともに、具体的なリリース時期等についてはIR並びにニュースリリース等でお知らせする方針であります。

② 既存タイトルのIP展開

本書提出日現在、同業他社に対して当社既存タイトルの著作権利用許諾を行い、ロイヤルティを受け取っており、今後も当社のゲームをより多くの方に楽しんでいただくとともに、収益の多角化に繋げるため、IP展開の拡大を図ってまいります。また「ミトラスフィア」と「幻獣契約クリプトラクト」の中国本土への進出準備に関しては着実に進んでおり、その他の地域においても進出を検討中であります。

当社は引き続き、様々な取り組みを通してIP展開の幅を広げてまいります。

③ スマートフォンゲーム事業以外の新規事業

今後、スマートフォンゲーム事業以外の新規事業への進出を想定し、「ゲーム×サービス」及び「その他ITサービス」のプロトタイプ開発に取り組んでおります。事業化に関しては、本書提出日時点においては未定であります。スマートフォンゲーム同様に質の高いサービス開発を目指しております。

なお、業績予想については、前事業年度における業績予想値の連続的な上方乖離並びに上記の取り組みに向けて機動的な投資判断を実施する観点から、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。しかしながら、当社は上記の取り組みを通してさらなる成長を目指し、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能となった時点で速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,993,192	1,823,882
売掛金	600,440	519,209
その他	57,785	74,171
流動資産合計	2,651,418	2,417,262
固定資産		
有形固定資産	6,927	6,150
無形固定資産	3,809	3,370
投資その他の資産	149,260	147,694
固定資産合計	159,997	157,216
資産合計	2,811,415	2,574,479
負債の部		
流動負債		
短期借入金	150,000	—
1年内返済予定の長期借入金	508,750	444,454
未払金	364,896	313,002
未払法人税等	80,043	63,589
その他	168,925	162,933
流動負債合計	1,272,615	983,979
固定負債		
長期借入金	425,878	334,665
固定負債合計	425,878	334,665
負債合計	1,698,493	1,318,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,620	478,367
資本剰余金	449,060	455,807
利益剰余金	192,241	321,724
自己株式	—	△65
株主資本合計	1,112,922	1,255,834
純資産合計	1,112,922	1,255,834
負債純資産合計	2,811,415	2,574,479

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	1,174,060
売上原価	723,896
売上総利益	450,163
販売費及び一般管理費	258,247
営業利益	191,916
営業外収益	
受取利息	3
物品売却益	16
営業外収益合計	20
営業外費用	
支払利息	2,219
その他	149
営業外費用合計	2,368
経常利益	189,567
税引前四半期純利益	189,567
法人税等	60,085
四半期純利益	129,482

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社はスマートフォンゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。